

保育 おおさか

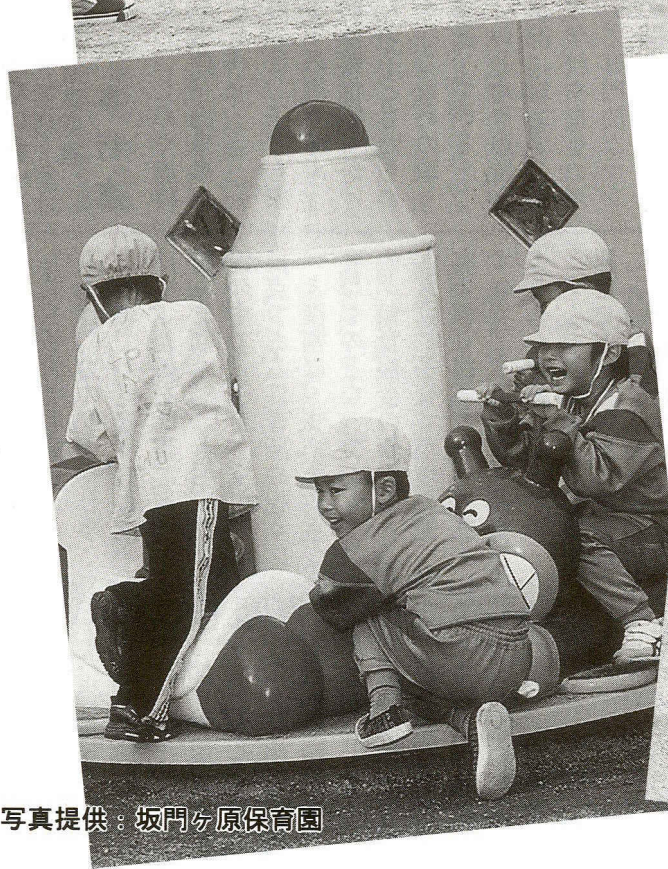
平成19年1月1日 第377号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

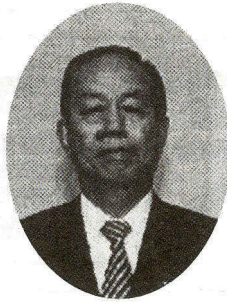
謹 賀 新 年

～みんなが幸せでありますように～



平成十九年 年頭に

保育部会長 永野 治 男



大同団結して国にモノ申しましょう。

その前段として、本年は統一地方選挙の年、年度初めの繁忙期に投票日が設定されておりますが、

地に足着いた保育に情熱を

保育士会長 武内 茂子



亥年の春、おめでとうございます。猪突猛進の受けとめ方として、地に足ふみしめた日々を送る様に努力したいものです。

認定こども園が条例化され新たなシステムに戸惑いを感じると同時に今後の少子化に幼稚園と子どもの分捕り合戦になりはしないかと危惧。

保育園は本来の与えられた社会的役割の中で『養護と教育』を実践しながら、肅々と歩んできた。しかし女性の社会参加と子育てに不安な保護者からの希望が増大し、慢性的な待機児童の出現になった。

(大都市圏だけであるが)新たなシステムは、保育園には高いハードルがあり、乗りづらいモノで、2〜3年様子を見て!と感じています。

5年後には見直しする事となっていますから、その際に不具合があれば、机

保育に理解のある先生方を当選できる様に応援しましょう。

また、保育指針も改定作業に入り、大臣告示となる模様。

年頭にあたり、今年も事故の無きよう心を新たにしながら、部会活動へのご協力を併せてお願い申し上げます。

「かけがえのない命」

大阪府児童家庭室 室長 水本 行彦

昨年は、いじめや虐待等悲しい事件、出来事が続きました。

大阪府では、子ども家庭センターの取り組み、相談体制の強化等、かけがえのない子どもたちのいのちを守るための取り組みを推進しているところです。いじめや虐待といった状況に対応するためには、学校や福祉の現場において専門的なマンパワーの強化・充実が求められています。今後とも皆様方の一層のご理解ご協力を賜りますとともに、本年が皆様にとりまして、実り多き年となりますよう心から祈念いたします。

「子育て力の向上」

大阪府子育て支援課長 小原 伸生

認定こども園制度が施行されるとともに、保育指針の見直しやバウチャー制度の検討が始まるなど、保育を取り巻く状況も激変期に突入していく感の

年でした。当課におきましても子育て家庭における子育て力の向上や仕事と子育ての両立支援に向けて、組織を改編し取り組みました。こうした状況の中で、子育て支援の拠点である保育所の担うべき役割は、ますます重要なものとなっております。保育部会の皆様方とともに、子育て環境の充実に取り組んでまいりますので、ご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

認定こども園制度の概要について

「認定こども園」大阪府条例については昨年末より保育部会各ブロック単位で大阪府より説明を受けましたが前号に続き概要は以下のとおりです。

就学前の教育、保育を一体として捉え、新たな枠組みとして保護者が就労の有無に関わらず子どもを受け入れ、教育保育を一体的に提供する機能をすべての子育て家庭を対象に子育て相談や親子の集いの場の提供を行なう機能。この二つの機能を兼ね備える施設を「認定こども園」として都道府県知事が認定をおこなうものである。

認定こども園の実施類型については認可幼稚園と認可保育所が一体的な運営を行なう「幼保連携型」。認可幼稚園が保育に欠ける子どもを受け

各ブロックで説明会

入れ保育所的な機能を備えた「幼稚園型」。認可保育所が保育に欠ける子どもを受け入れるなど幼稚園的な機能を備えた「保育所型」。幼稚園保育所いずれの認可も得ていない教育、保育施設が認定こども園の機能を果たす「認可外施設型」(府の基準として保育所基準を満たす施設)の四つに分類されています。

AED 保育園も対象に

すでに施設通信で概要の、AED(自動体外式除細動器)設置助成金について、このたび保育所も助成対象となりました。

1月中旬に対象施設へ申請の案内をお送りしますので救命の連鎖、救急救命都市おおさかの推進のため購入をお勧めします。

(事務局)

新たな扉を開けて

堺市民間保育園連盟 浅田 三雄

設立50周年式典には多数のご出席を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度、当連盟加盟園は70園になります。また堺市の政令指定都市移行に伴い区行政が始まったため全体会と併せて各区においても園長会活動を行うこととなりました。

さらに昨年度に引き続き、全国的にも上位である待機児童解消への協力・幼保連携型認定こども園の設置反対・長年にわたり保育園が担っている子育て支援の実績と重要性を市議会に正しく認識評価していただくためのロビー活動を大きな柱として活動して参ります。全国足並みそろえて新たな50年への扉を開ける所存であります。

総合力の充実を

北大阪ブロック会 亀井 信昭

昨年、認定こども園制度が始まり、保育園をとりまく環境は大きく変わろうとしています。

変化を乗りきるには、地域からどれだけ信頼され、必要とされる保育園であるかによると思います。

当会では、全会員園が地域に根ざした子育て支援の中核となることを会を挙げて取り組むべき課題であると考え、今年度新たに、保護者や地域の方々に「信頼」されるよう、我々の宝である保育の総合力を充実させるために、子育て支援研修会を開催しました。

多くの会員数を誇るブロックとして、個々の資質向上はもとより、意見交流を積極的に行い、組織としての骨子を少しずつ強固にしていきたいと考えます。今年もご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

子どもに良い保育改革を

泉州民間保育協議会 田中正清

「認定こども園」がスタートし、不安を感じておられた先生も、日保協の研修会で菅原常務理事から「民間保育園は保育園のままでもよく、転換する必要はない」との力強い言葉を聞き、心を強くされた方も多かったのではないのでしょうか。

しかしながら、保育制度改革がストップした訳ではなく、今後どのような改革がなされるか分かりません。

今年の干支は丁亥で、この年は新しい動きが目立ち、大地震の起こりやすい年回りであるとの事です。

国の猪突猛進だけはご遠慮し、国の将来を支える子どもたちにとって、より良き制度となるようしっかりと議論を重ねてほしいと思います。

目まぐるしい対応迫る

南大阪ブロック民間保育園連盟 宮武 勲

昨年は民間共済会運動会の応援演技を南大阪ブロックが担当、一丸となり優勝を果たし、束の間の達成感を味わいましたが、昨年を振り返って見ると小泉政権から安倍政権への政治の変化、地方自治体への裏金、談合、長期の休みでも報酬の支給など、また子どもを取り巻く虐待、いじめによる子どもたちの悲惨な事件、そして我々の業界の「認定こども園」と目まぐるしく様々なことが生じ、一体どうなのか分からない一年だったように思っています。

「認定こども園」についてはまだまだ未知数かもしれませんが少子化の中で厳しい対応が迫られるかもしれません。部会役員のご努力で一時保育事業の解決に感謝。

協力・密着・団結で

河内ブロック会 橋詰 幸雄

東大阪市も中核都市になり、3年目を迎えることになりました。当市における保育需要も益々高まりを見せております。

少子化・核家族の増加による育児機能の低下・子育てに関する考え方の変化など様々なことが影響しているものと考えます。

一方保育制度におきましても、『認定こども園』の法令化・今後行い得る直接契約の導入など保育園のあり方を問われる時代になってきています。

こうした激変期の中、各関連機関と密なる協力とより一層地域に密着した保育運営を目指して河内ブロック一致団結し今年も頑張っていきたいと思えます。本年もよろしく。

「保育一筋」

北摂ブロック保育部会 熊井 茂治

昨年は認定こども園の条例が施行され、説明会や勉強会が開催されました。その中でこの制度は委託事業ではなく直接契約である事。また、幼稚園経営者に有利等々がわかり、保育関係者の関心も若干後退したように思われました。

しかし、この制度が我々に不利だからと背を向けるのではなく、この中に示されているものを読み取ることが必要と思われまます。おそらく近い将来実施されるであろう直接契約について調査研究し、準備しておく事ではないでしょうか。

亥年といえは「猪突猛進」、あまり深い考えもなく猪のごとく突き進むことは好ましいことではありませんが、今年も子どもたちのために「保育一筋」まっしぐらに進んでまいりたいものです。

ブロックだより

北大阪 年末研修会



12月5日北大阪ブロック会の年末研修会・懇親会が大阪キャッスルホテルで行われた。

今年は亀井会長の「いつもと違った切り口の研修会を」との意向で「木村弓コンサート」が開かれた。木村さんは、宮崎駿監督作品「千と千尋の神隠し」の主題歌「いつも何度も」を作曲し歌われている。

コンサート依頼の過程

保育園をたずねて

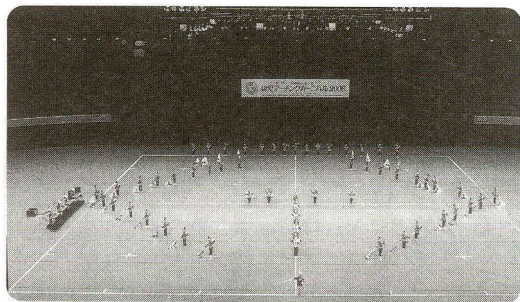
346

高槻市

日輪保育園

日輪保育園は、高槻の北部に面し、松尾芭蕉が訪れ、桜の句を読まれたことで有名な土地にあり、卯の花の名所でもありました。

昭和47年設立で、定員は120人でしたが、地域の要望により、現在は140人とされています。仏教情操教育と専門情操教育の両輪で保育を展開され、特に鼓笛隊に力を入れています。



ニューヨークの桜祭りにも招待され、東京デイズ・ニールランド・ミュージックフェスティバルには4回出場されています。そのような伝統の中で園児たちも日々大きく成長し、動から弱、弱から動へと園児たちの心の発達を育てたいと実践し、社会に役立てる基礎作りにも励んでおられる保育園でした。

には、ギャラの問題などの紆余曲折はあったものの木村事務所の厚意により実現できた。

当日は、ブロック内7市の担当行政の方々も出席を頂き139人の参加者であった。



私達は、保育に携わる中で達成感や充実感を味わう半面、日々悩みを抱え常に飽和状態でゆとりがない。立ち止まりゆとりなくすることにさえ焦燥感を感じる。そんな私達を癒し、潤いを与えてくれる素晴らしいコンサートであった。これを次の力に繋げていきたい。

その後行なわれた懇親会はコンサートの余韻を残しながらおいしいお料理を前に和やかに行なわれた。

(ギンガ保育園)



泉州

一泊園長研修会

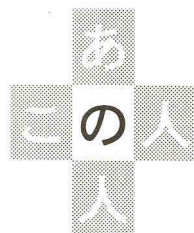
11月28・29日

泉州民間保育協議会主催の府外園長研修会が、11月28日の火曜日から一泊二日で北海道登別を中心に開催された。

当日は、31人の参加者を迎え、関西国際空港から一路新千歳空港へ。大阪との気温差が10度近くあり、空港に降り立った参加者は、突然の冬の到来に戸惑っていた。

アイヌ村の見学後、登別温泉で研修会が開催さ

「認定こども園」に関する法律は、国会で18年6月9日可決成立、同月15日公布となった。そしてこの10月1日施行となり、大阪府もこれに関する条例を10月末日に制定した。



飯尾さんは「認定こども園」の準備期間に、また水本さんはいよいよ実施にとご苦労をお掛けすることになる。

お二人には健康に留意され、ご活躍いただき、ご指導いただきたい。

れた。研修会では、大学生や短大生の実習受け入れに伴う問題点など様々な意見交換が行なわれた。また、研修会後に行なわれた懇親会では新規加入者の紹介で幕を開け、和やかな雰囲気の中で楽しいひと時を過ごした。

翌日には、函館市内を散策した後、函館空港から無事帰路に。デパート

発行所
大阪市中央区中津1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部協議会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
編集人 永 水